

**委員会報告 親睦委員会 増田 徹委員長**

先日の親睦国際大会旅行のご報告です。

**◆親睦旅行スケジュール**

- 5/28 第 2770 地区ガバナーナイト参加⇒安山 RC 主催  
歓迎会 日式料理屋「メスサ」
- 5/29 ソウル探訪 国立博物館⇒明洞散策 ナンタ公  
演観覧⇒漢江遊覧船乗船⇒晚餐会⇒会員親睦  
会
- 5/30 ソウル探訪 ロッテモール⇒土産買い物⇒帰国

- (3) 1908(明治 41)2. 18 外相林薫、米国提案の移  
民制限の実効方法につき回答(移民に関する日  
米紳士協約)
- (4) 1909(明治 42)12. 18 米国、満州における鉄道  
中立化案を提議
- (5) 1910(明治 43)1. 21 日露両国、米国の満州鉄  
道中立化案に不同意と回答

**本日の卓話 須田 清会員**

**「日米開戦の遠因」について**

1. 日露戦争終結と米国の役割
  - (1) 1905(明治 38)6. 1 高平駐米公使、米大統領  
に日露講和の友誼的斡旋
  - (2) 1905(明治 38)6. 9 米大統領、日露両国に講  
話を勧告
  - (3) 1905(明治 38)8. 10 日露講和会議、ポー  
ツマスで開催
- ・ロシア側に認めさせる絶対条件
  - ① 韓国における日本の完全な支配権をロシアに認めさ  
せる。
  - ② ロシア軍を満州から撤退させる。同時に日本軍も撤退  
する。
  - ③ 遼東半島を日本に譲渡させ、加えてハルビン・旅順間  
の鉄道を日本に譲渡させる。

このように日本側は交渉の「絶対的必要条件」とした項目  
の全てを入れることに成功したが、賠償金については獲得  
できなかった。

  - (4) 1905(明治 38)8. 12 第 2 回日英同盟協約調  
印
2. 米国の期待 満州における利益の確保
  - (1) 1905(明治 38)10. 12 桂・ハリマン覚書交換
  - (2) 1905(明治 38)10. 23 日本破棄通告

条約の調印を終えて帰国した小村寿太郎が、この共同経営  
案に強硬に反対したため、政府は合意を撤回。小村寿太郎  
の懸念は資本、技術力とも大きいアメリカに経営権を奪わ  
れることにあった。

  - (3) 1906(明治 39)3. 19 駐日英大使、満州の門  
戸開放を政府に要求
  - (4) 1906(明治 39)3. 26 米大使も要求
  - (5) 1906(明治 39) 日本いずれも応じず

こののち日米関係は急速に悪化していく。
3. アメリカの報復と日露協力
  - (1) 1906(明治 39)10. 11 サンフランシスコ市  
学務局、日本人学童の隔離を命令
  - (2) 1907(明治 40)11. 16 アメリカ駐日大使、日  
本人労働者移民の渡航制限を要求(日米紳士  
協約第 1 号)



須田清会員  
卓話ありがとうございます  
11月ごます

**ニコニコ・出席報告**

- 切通 勇次 須田先生卓話よろしくお願ひします
- 今村 勲 須田先生卓話ありがとうございます
- 磯 利昭 本日もよろしくお願ひいたします
- 須田 清 楽しい国際大会でした盧さんありがと  
うございました
- 小林 忠 須田先生卓話よろしくお願ひします
- 延島 三男 須田先生卓話楽しみにしております
- 藤原 忠雄 国際大会出席の皆様ご苦労様でした無  
事帰って来て良かったです
- 増田 徹 親睦旅行お疲れ様でした会長あと 1 ケ  
月、張り切ってガンバリましょう！！
- 森川 昌紀 須田先生本日はよろしくお願ひします
- 森田 康之 須田先生卓話を楽しみにしています
- 山口久仁幸 須田先生今日はありがとうございます
- 盧 聖煥 須田先生今日は卓話ありがとうございます
- 槇 孝夫 須田先生卓話よろしくお願ひします

13 口 18,000 円 累計 775,000 円

会員	出席	計算	MU	%
21	13	19	3	84.2

